

# 県中国研の動き・今年度の活動方針

岐阜県小中学校教育研究会 中学校国語科研究部会 主務  
大垣市立星和中学校 塚本 陽治

## ■ 1—はじめに

### 全国大会の成果を広げ、深める飛騨大会へ

この言葉を合言葉にし、平成30年度県中国研の活動を進めてきました。その中で大きな成果が2点ありました。

1点目は、「全国大会の成果を広げ、深めるための研究体制と情報共有」です。全国大会で高い評価をいただいた研究と実践を岐阜県の国語科の全ての先生にとっての財産とすることを目指したいと考えていました。その中で、全国大会の授業についての詳細を、夏季研修会場で改めて伝えることができました。また、研究部では、全国大会の授業をそれぞれの地域や実態に即した形で追実践するなど、成果を広げる取組がなされたことは大きな成果です。さらに、魅力ある言語活動の単元構想、単元で使用した学習プリントや板書など、研究部員の先生方の取組をホームページ上にアップしてきました。県中国研で創り上げてきた実践を気軽にできることが可能となりました。

2点目は、「飛騨地区の先生方の機運の高揚」です。先の全国大会でも「オール岐阜」として、国語科の先生方が一丸となって取り組んできました。授業をされる先生だけでなく、岐阜としての実践を創る、また、自分たちの手で運営するという機運の高さが成功につながりました。それを受けて、飛騨地区の先生方は令和3年度の飛騨大会に向けて、組織を再編し、運営や研究の体制を整えることができました。これは、大きな一歩であると言えます。

令和元年度では、飛騨地区の先生方の機運を足場とし、県中国研の研究方針や内容を共有しながら、飛騨大会に向けて「地盤を固める1年」としたいと思えます。飛騨地区の先生方の「こんな飛騨大会にしたい」という思いを汲むとともに、令和3年度から完全実施となる学習指導要領、さらには、新教科書使用初年度という大きな変革の中で、県内の国語科の先生方の「道しるべ」となる実践や研究内容が提案できればと考えます。

合言葉は、

### 来てよかった、飛騨大会！

です。

代議員の先生方には、それぞれの市町村でイニシアティブをとって研究を進めていただくこととなりますが、県中国研の方向性を御理解いただくとともに、各市郡の研究の一助となれば幸いです。皆様の御理解と御協力のほど、よろしくお願いします。

## ■ 2—令和元年度の事業について

### (1) 研究主題について

昨年度までの研究主題は、

**生きてはたらく言語能力の育成**  
～言語能力の高まりを実感する言語活動の充実を通して～

でした。この研究主題のもと、研究部の先生方の実践や各都市の教科研の実践をもとに、「生きてはたらく言語能力一覧表」や「言語活動一覧表」を作成し、全国に向けて発信することができました。これは、大きな財産となりました。

また、「言語活動の充実」や「言語能力の高まりを実感する」という言葉は、新学習指導要領における国語科の目標においても次のように示されています。

**言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

つまり、私たちが目指すべきは、「生徒に言語能力を身に付けさせる」ことであり、生徒がその高まりを実感している姿こそが、中国研が目指す生徒の姿であると考えます。また、「言語活動を通して」とあるように授業改善のために行う言語活動の創意工夫や充実は、私たちの研究の糸口になると考えます。

以上の点から、また、前述した「全国大会の成果を広げ、深める飛騨大会」に結ぶためにも、昨年度来の研究主題を継続し、研究を進めていきたいと考えます。

また、新学習指導要領や新教科書使用をにらんで、授業作りの視点や県内の多くの先生方に使っていただける資料等の提案をしていけたらと思います。詳細は、研究総括提案をご参照ください。

## (2) 飛騨大会について

2021年度に開催される飛騨大会に向けて、飛騨地区の先生方が動き出しています。昨年8月8日（水）に高山市立日枝中学校にて研究協議会を開催しました。この会は、

飛騨大会の全容を理解した上で、各領域の研究の方向を確認すると共に、個々の役割に応じた見通しをもつこと

を目的として、飛騨地区の先生方を集めて行われました。飛騨地区の国語科総勢48名が4つの研究部と運営部の5つの役割を担い、飛騨地区大会に向けて歩み始めました。

また、飛騨地区の先生方は飛騨大会を見据えての実践を積み重ねていただいています。今年度は「ぎふこくご」の冊子にも、その実践の一部を掲載しております。県中国研としても、来年度から「飛騨中国研」との連携を強化し、飛騨大会への成功へとつなげていきたいと思ひます。

飛騨大会について、現在決まっていることは以下の通りです。

日時：令和3年（2021年）10月22日（金）

場所：高山市内 **全体会** 高山市民文化会館

**授業会場及び分科会**

中山中学校（話す・聞く）

松倉中学校（書くこと）

日枝中学校（読むこと）

東山中学校（言語文化）

詳細は、飛騨大会準備委員長資料をご参照ください。

平成33年度 飛騨地区大会に向けて

研究部：金子 紀之（新原南中）

運営部：藤上 肇彦（東山中）

【研究部】

【運営部】

大会の進行スケジュール表も掲載されています。

## ■ 3一運営に関して **頑張る飛騨地区の先生方をバックアップする運営体制を！**

### (1) 夏季研修会について

昨年度は、全国大会の授業者の先生方をお招きし、当日行われた授業の詳細を発表していただきました。参加された先生方からは、指導の意図や単元の構想、学習プリントなど、様々な学びがあったという感想を寄せていただきました。

今年度は、

### **岐阜で、岐阜の国語を教える私たち**

をテーマとした研修会を企画しました。

昨年度、NHK放送コンテストの作品を拝聴する機会がありました。そこでは、大変素晴らしいアナウンスや朗読をする県内の生徒の声を聞くことができました。しかし、担当の方の話によると、岐阜の子の作品は、全国大会では光らないということでした。それは、岐阜ならではのイントネーションやアクセントがあるからだそうです。裏を返せば、「私たちも知らない間に、岐阜方言の発音やイントネーションを、共通語として認識して指導している」と言えます。そこで、岐阜方言の在り方や指導の参考にしていただければと考え、以下のように企画しました。

夏季研修会実施日 日時：8月19日（月）（県統一研究日） 場所：ぎふメディアコスモス  
 <内 容>（午前）◆ 岐阜大学 山田敏弘教授による講演会 演題：未定  
 （午後）◆ 各領域の研究部会【研究部員のみ】（予定）

なお、参加にあたってですが、県統一研究日に設定してあるため、各市郡でも、研修会を開く予定があると思ひます。その際、「この研修会を各市郡の研修会に充てる」ことも可能ですが、昨年度は多数の学校が参加したため、受付が混乱してしまいました。そこで、もし、「市郡の研修会を県中国研の夏季研修会で兼ねる場合」には、一度**星和中学校 塚本**までご連絡をいただきたいと思ひます。代議員の先生や顧問校長先生とどのような流れにするかを打ち合わせしたいと思ひます。メールでもFAXでもお電話でも構いません。よろしくお願ひします。

大垣市立星和中学校 県中国研 主務 塚本 陽治  
 Tel 0584-75-2660  
 Fax 0584-75-2650  
 Mail [seiwa@ogaki-city.ed.jp](mailto:seiwa@ogaki-city.ed.jp)

## (2) 「明日（あした）の授業を考える会」について

経験年数の少ない先生方や小学校から中学校へ校種を変更された先生方、小規模校で不安をおもちの先生方、明日の授業をどうしようか迷っている先生方などに参加していただき、日頃の授業に対する悩みや、



■ 3—令和元年度の事業計画（案）

月	事務局				研究部	
	総務	広報	編集	会計	研推	各研究部会
4	○本部役員、研究部員委嘱状発送（主務） ○代議員派遣依頼発送（総務） 研究部員派遣依頼発送（研究総括） ○県内の国語科の把握→役割分担				研究部部長など依頼（会長）  研究部員依頼（部長）	
5	○第1回役員会 5月10日（金）於）長良中学校 ◎第1回代議員会 5月27日（月） 於）岐阜市教育研究所 ・主務—活動計画の提案 ・研究部—研究計画の提案 ・代議員—各市郡の教科研で予定している領域の研究部会に参加				○研究部総会 5月27日 研推①： 研究主題 研究計画	☆第1回研究部会：全体構想及び各研究部構想の検討
6	○各郡市教科研（代議員） ○夏季研修会の案内発送（主務） ○明日の授業を考える会の案内発送（総務）				研推②： 進捗状況の確認	☆研究部員による実践の蓄積
7	○第35回NHK杯全国中学校放送コンテスト県予選会（情報）					
8	◎第1回明日の授業を考える会（若手の会）8月6日（火） 於）一之宮公民館（高山市） ◎夏季研修会 8月19日（月） 於）ぎふメディアコスモス ○「国語の学習」改訂編集会議（編集）				研推③： 夏季研修会に向けての打ち合わせ	☆第2回研究部会：実践の振り返りと2学期に向けて
9	○「ぎふこくご」企画会（広報）					
10	○各郡市教科研（代議員）				研推④： 進捗状況の確認	☆研究部員による実践の蓄積
11	○「ぎふこくご」原稿依頼発送（広報） ○研究部員原稿依頼（部長） ○報告書作成（主務）					
12	◎第2回明日の授業を考える会（若手の会）12月下旬 於）岐阜地区 長良中学校（予定） ○「ぎふこくご賞」実践論文の提出状況確認（副総括）				研推⑤： 今年度のまとめと来年度の方角について（実践記録受付）	☆研究部員による実践のまとめ
1	○「ぎふこくご」原稿校正（広報） ○役員会派遣依頼状発送（主務） ○会計処理と監査（会計）					☆第3回研究部会：研究のまとめと来年度の研究計画
2	○第2回役員会 1月下旬 於）長良中学校 ・ぎふこくご賞の決定 ・代議員会の確認 ○代議員会派遣状発送（総務） ◎第2回代議員会 2月17日（月） 於）岐阜市教育研究所 ・主務—活動計画の提案 ・研究部—研究計画の提案 ・広報—「ぎふこくご」配布 ・編集—「岐阜県版国語便覧」「漢字のとびら」「国語の学習」宣伝 ・代議員—各市郡の教科研で実施した領域の研究部会に参加 ○2020年度の役員を選出				○研究部総会 2月17日 研推⑥： 今年度のまとめと来年度の所属希望調査	